

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2021 助成の概要と推薦理由

助成番号 21-1-4

プロジェクト名 コロナ禍に対応した院内活動プログラムの開発
と継続の仕組みづくり
団体名 特定非営利活動法人絵本カーニバル
代表者名 目黒 實
所在地 東京都
助成額 200万円
助成期間 2021年6月1日～2022年5月31日
設立年 1997年
URL <http://www.ehoncarnival.com>



新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化によって、病院では家族の面会制限や一時帰宅の中止、ボランティアの受け入れ停止など、未だにその状況が続いている。そのため医療従事者も今まで以上に業務負荷がかかっているなか、さらにストレスを抱えている子どもたちの心のケアや、遊びなどの楽しむ機会を作らなければならず、一層の負担を強いられている。

この団体は、絵本や音楽、アートなどの文化芸術活動を通じて、子どもの心身や感性などの発達を促すことを目的に、全国で体験型の絵本イベントを実施している。その一つとして、小児病棟に入院している子どもや家族、医療従事者が楽しむことができるよう、院内のスペース空間をたくさんの絵本で彩り、ワークショップを開催している。

今回の助成では、院内での対面ワークショップにかわる内容として、幼児・低学年向けには個包装された絵本キットを、社会学習の機会が少ない高学年・中高生向けにはSDGsの理解を促す絵本展示プログラムを開発する。絵本キットは、子どもたち自身でシールを貼ったり、紙を切りながら、楽しんで絵本を作成できる内容にする。そして各病院で取り入れてもらえるよう、オンラインで院内担当者とコミュニケーションをとり、支援の継続へとつなげていく。なお個包装の絵本キットは多くのニーズに対応できるよう、市民ボランティアとともに制作する仕組みづくりを試みる。

本助成を通じて、コロナ禍によって我慢を強いられている子どもたちが、絵本の楽しさに触れることができるプログラムの開発を目指して欲しい。また個包装の絵本キットは、病院・在宅を問わず、すべての長期療養の子どもたちに届けることができるよう、その展開を見据えて意識的に取り組まれることを期待する。

